

旭川赤十字病院出前講座のご案内

概要

旭川赤十字病院は、地域医療支援病院として「地域の医療機関、介護・福祉施設との連携推進」を基本方針の一つに掲げています。この基本方針に基づき、当院の職員が地域の医療機関、介護・福祉施設に出向き研修会を行うことを「出前講座」と名付けました。地域の医療機関、介護・福祉施設のみならず「顔の見える関係」および「共に学ぶ体制」を築くことにより、さらなる連携強化を目指したいと願っております。

みなさまのお役に立てるよう様々な講座メニューをご用意しております。どうぞ、お気軽にお申込みください。

対象

旭川市内・市外の医療機関、介護・福祉施設従事者

申込方法

旭川赤十字病院ホームページトップ画面からお入りください。



1. 出前講座メニュー表からご希望の講座をご選択ください。
2. 「出前講座申込書」に、ご希望の講座名、お申込み施設名・担当者様のお名前等をご記入いただき、メール添付（またはFAX）にて教育研修センターにお申込み願います。
3. 教育研修センターから、お申込み施設の担当者様に連絡させていただき、研修設備等について確認させていただきます。その後、担当講師と日程等を調整し、決定通知書をメールにてお送りいたします。
4. 決定後、担当講師からお申込み施設の担当者様に連絡させていただきますので、詳細についての打ち合わせをお願いいたします。
5. 講師招聘状（依頼文）を旭川赤十字病院長宛にご送付願います（ひな形を用意しております）。

*日程の都合上、原則開催希望日の2か月前までにご連絡をお願いいたします。

*ZOOM等を利用したオンライン講座が可能なメニューもございますので、お問い合わせください。

注意事項

1. 開催時間は、原則平日の14時から19時とさせていただきますが、ご要望がございましたらご相談させていただきます。
2. 当講座料金につきましては、お申込み施設の規程に準じさせていただきます。規定のない場合は、別途ご相談とさせていただきます。
3. 担当講師の交通費につきましては、お申込み施設をお願いしております。
4. 講座時間は基本60分とさせていただきます（質疑応答を含む）。メニューの内容・時間により、組み合わせも可能でございます。
5. 当日の配布資料につきましては、事前にデータをメール等でお送りいたしますので、必要部数をご用意願います。
6. 講師の業務の都合により、ご希望に添えない場合もございますのでご了承願います。
7. ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

旭川赤十字病院 教育研修センター

〒070-8530 旭川市曙1条1丁目1番1号

TEL : 0166-22-8111(1420・1421) FAX : 0166-22-7622

E-mail : kenshuu@asahikawa-rch.gr.jp

出前講座メニュー

2024 年度版

対象：医(医療職—看護師、医療スタッフ)

：介(介護職)

変更部分：朱書き

新規項目：黄色マーカー No.137、138

No.	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
1	呼吸リハビリテーション	・呼吸障害に対する運動療法 ・生活指導(ADLの工夫)	講義・実技	医・介 時間：応相 談	理学療法士 作業療法士
2	心臓リハビリテーション	・運動療法の重要性～リスク管理 も含めて～ ・生活指導(ADLの工夫)			
3	栄養と貯筋	必要なカロリーと大事な運動			
4	顔面神経麻痺のリハビリテーション	・顔面神経麻痺の病態 ・表情筋運動の方法			
5	パーキンソン病を理解しよう	・パーキンソン病のリハビリテーション ・生活指導(ADLの工夫)			
6	がんのリハビリ	・がんの運動療法の重要性 ・お家でできる簡単体操			
7	褥瘡予防	褥瘡予防のポジショニング			
8	介護する側の健康管理も大事	・転倒予防のための運動等 ・腰痛症の予防と運動 ・生活習慣病と運動			
9	どんな福祉用具を使えばいいの？	・用具の種類、選び方			
10	失語症	失語症の病態と関わり方	講義・実技	医・介 時間：応相 談	言語聴覚士
11	構音障害	構音障害の病態と関わり方			
12	口腔ケア	口腔ケアの方法			
13	嚥下調整食	咀嚼・嚥下しやすい食事とは 嚥下調整食について	講義	医・介 時間：応相 談	管理栄養士
14	腎臓病の食事	腎臓病の食事療法の基本			
15	心臓病の食事	心臓病の食事療法の基本			
16	糖尿病の食事	糖尿病の食事療法の基本			
17	糖尿病と検査	糖尿病で行われる検査の内容	講義	医・介 30～60分	臨床検査技師①
18	心臓超音波検査	心臓超音波検査の実際	講義・実技	医 30～60分	
19	血液型と輸血	輸血の際に行われる検査と血液型	講義	医 30～60分	
20	微生物のお話	ノロ・インフルエンザ等の微生物に関すること	講義	医・介 30～60分	
21	正しい採血方法とは？	より良い検査結果を報告する為の採血方法に関すること	講義	医 20～30分	
22	がん細胞ってどんな顔	がん細胞の顕微鏡像	講義	医・介 20～30分	臨床検査技師②
23	医療安全①	医療人のためのリスク感性養成	講義	医・介 60分	臨床工学技

No.	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
		講座			士
24	医療安全②	間違いだらけの「患者誤認」	講義	医 60分	
25	医療安全③	医療機器安全管理責任者の仕事	講義	医 60分	
26	感染リスク感性	医療人のための“感染”リスク感性養成講座	講義	医・介 60分	
27	透析管理①	透析室のリスクマネジメント	講義	医 60分	
28	透析管理②	透析技術 (ブラッドアクセス管理など)	講義	医 60分	
29	ペースメーカ管理	ペースメーカの安全管理	講義・実技	医 60分	
30	救命処置	一次救命処置・二次救命処置	講義・実技	医・介 60分	
31	人工呼吸器①	人工呼吸器の構造・原理・モード 他	講義	医 時間：応相談	
32	人工呼吸器②	人工呼吸管理の実際	講義・実技	医 60分	
33	被ばくのお話	被ばくと人体への影響	講義	医・介 60分	診療放射線技師
34	薬のお話	薬全般について(内容は応相談)	講義	医・介 30～60分	薬剤師
35	注射薬調製	注射薬の調製(抗がん剤含む)	講義・実技 可	医 30～60分	
36	医療安全	旭川赤十字病院の医療安全対策	講義	医 30分	医療安全管理者 (看護師)
37	訪問看護のお話	訪問看護の内容、利用方法、費用、連携	講義	医・介 30分	訪問看護ステーション 看護師・保健師
38	看取りのケア①	施設入居者の人生最終段階のケアと支援	講義	医・介 時間：応相談	
39	高齢者とのコミュニケーション方法	高齢者との対話がうまくいかない時にはどうしたらいいの？	講義	医・介 30分	老人看護 専門看護師
40	高齢糖尿病患者の特徴	高齢糖尿病患者さんへのケアで気をつけたいこと	講義	医・介 60分	
41	がん患者さんの心に配慮したコミュニケーション	がん患者さんの気持ちの理解、コミュニケーション方法のポイント	講義	医・介 30～60分	がん看護 専門看護師
42	知っておきたいがんの基礎知識	がんについて、がんの検査と治療、信頼できる情報と窓口など	講義	医・介 30～60分	
43	コミュニケーションと意思決定支援	コミュニケーションの基礎知識、倫理原則、意思決定支援	講義	医・介 30～60分	
44	がん看護と看護倫理	がん看護における看護倫理の重要性、がん看護で重要になる倫理的問題とその対応	講義	医・介 30～60分	がん看護 専門看護師

No.	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
45	がん患者さんの家族ケア	変化する家族機能への支援、予期悲嘆への援助、倫理調整の必要ながん患者家族へのケア	講義	医・介 30～60分	
46	がん患者さんをケアする看護師へのケア	がん看護に携わる看護師の共感疲労、看護師のグリーフに対するケア	講義	医・介 30～60分	
47	看取りのケア②	臨死期のケア、家族ケア、エンゼルケア	講義・実技	医・介 30～60分	
48	がん疼痛	疼痛アセスメント、WHO方式がん疼痛治療法、看護・ケア	講義	医 30～60分	
49	痛み以外の身体症状緩和	消化器症状、呼吸器症状、倦怠感、食欲不振など	講義	医 30～60分	
50	慢性疾患患者の捉え方	慢性病を持つ人の身体面、心理社会面を含めた包括的なアセスメント	講義	医・(介) 30～60分	慢性疾患看護専門看護師
51	感染対策	感染対策について	講義	医・介 40分	感染管理 認定看護師
52	手洗いと个人防护具	手洗い・防護具の着脱方法	講義・実技	医・介 30分	
53	施設内感染ラウンド	施設内感染ラウンドと支援	ラウンド・フィードバック	医・介 90分 時間：応相談	
54	褥瘡管理①	褥瘡の予防(リスクアセスメント、圧迫の除去、ずれの低減、スキンケア)	講義・実技 可	医・介 60分	皮膚・排泄 ケア看護 認定看護師
55	褥瘡管理②	体位変換・圧抜き	実技	医・介 30分	
56	創傷管理	創傷被覆材・外用剤の使用法	講義	医・介 30分	
57	ストーマケア①	ストーマ装具の交換	実技	医・介 30分	
58	ストーマケア②	ストーマ装具選択	講義	医・介 30分	
59	失禁ケア①	失禁時のスキンケア	講義	医・介 30分	
60	失禁ケア②	おむつの使用方法	講義・実技	医・介 30分	
61	スキンケア①	スキンケアの基本	講義・実技 可	医・介 30分	
62	スキンケア②	高齢者のスキンケア	講義・実技 可	医・介 30分	
63	術前準備の必要性	① 手術前の身体準備 ② 装着物を除去する必要性	講義	医 45分	
64	手術体位と褥瘡予防	皮膚・神経損傷予防、手術体位固定の注意点	講義・実技	医 60分	
65	手術中の体温管理	手術中の体温管理の重要性	講義	医 30～40分	
66	麻酔の種類	麻酔の種類	講義	医 30分	手術看護 認定看護師
67	麻酔に関わる看護	麻酔中の看護	講義	医 30～40分	
68	手術機材の安全使用	手術機材の安全使用	講義	医 30～40分	

No.	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
69	呼吸の解剖生理	呼吸に関する解剖生理	講義	医 時 間：応相 談	集中ケア、 クリティカル ケア 認定看護師
70	呼吸・循環のフィジカルア セスメント	呼吸・循環のフィジカルア セスメント	講義・実技 可		
71	酸素療法中の看護	実技可 適切な酸素投与方法、 酸素療法中の看護	講義・実技		
72	排痰援助	実技 体位ドレナージ・気管吸引 など	講義・実技		
73	人工呼吸器管理中の 看護	感染対策、事故防止対策など	講義・実技		
74	容態悪化の兆候	感染など敗血症により急変する 可能性のある患者の兆候につい て	講義		
75	高齢者の観察	加齢による身体の変化、それを 踏まえた観察について	講義・実技	医・介 時間：応相 談	
76	心不全って何？	心不全の症状・観察点について	講義	医・介 40～60分	慢性心不全 看護 認定看護師
77	心不全の悪化予防に ついて	心不全の悪化を予防するための 生活指導～水分制限・塩分制限 について、感染症予防、過活動 防止などについて	講義	医・介 40～60分	
78	BLS	一次救命処置(AED までの処 置)	講義・実技	医・介 60分 (調整可能)	救急看護、 クリティカル ケア 認定看護師
79	ALS①	二次救命処置：気管挿管の介助	講義・実技	医 60分 (調整可能)	
80	ALS②	二次救命処置(BLS 修得者対 象) 一連の流れ、静脈路確保	講義・実技	医 60分 (調整可能)	
81	ALS③	二次救命処置(①②を受講した 方) 一連の流れ	講義・実技	医 90分 (調整可能)	
82	窒息①	窒息の介助法 -反応がある場合-	講義・実技	医・介 60分 (調整可 能))	
83	窒息②	窒息の介助法 -反応が数分後になくなった場合 -	講義・実技	医・介 60分 (調整可 能))	
84	急変時記録	急変時の記録(視聴覚教材を用 いて)と事例検討	講義	医・介 60分 (調整可能)	
85	急変の前兆	急変前兆の予測と観察 -事例を通して-	講義	医・介 60分 (調整可能)	
86	病態と看護①	急性期看護 -呼吸・循環・神経-	講義	医・介 各 60分	
87	病態と看護②	熱中症と看護	講義	医・介 60分 (調整可能)	
88	災害看護	災害時の対応	講義	医・介 60分 (調整可能)	
89	脳神経のフィジカルア セスメント	脳神経のフィジカルアセスメント	講義	医 20～60 分 (調整可能)	脳卒中リハ ビリテーショ ン看護 認定看護師
90	脳卒中における脳・神 経機能のアセスメントと 看護	①意識障害 ②運動障害 ③高次脳機能障害	講義・実技 可	医・介 各 60～90 分 (調整可能)	
91	脳卒中再発予防のお	再発予防、血圧の管理、生活習	講義	医 30～60	

No.	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
	話	慣		分 (調整可能)	
92	片麻痺患者のポジショニング	片麻痺のある患者のポジショニング	講義・実技	医・介 20～60分 (調整可能)	
93	廃用症候群の予防技術	①誤嚥性肺炎 ②拘縮 ③深部静脈血栓症 ④起立性低血圧	講義・実技	医・介 各60～90分 (調整可能)	
94	安全な化学療法	外来化学療法におけるリスク管理	講義	医 30分	
95	副作用対策①	悪心・嘔吐の種類とメカニズム、抗がん薬の種類、制吐薬、ケア	講義	医 30～60分	
96	副作用対策②	骨髄抑制のメカニズムとケア	講義	医 30～60分	
97	副作用対策③	便秘・下痢のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア	講義	医 30～60分	
98	副作用対策④	口内炎のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア	講義	医 30～60分	
99	副作用対策⑤	皮膚障害のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア	講義	医 30～60分	
100	副作用対策⑥	脱毛のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア	講義	医 30～60分	がん化学療法看護認定看護師
101	副作用対策⑦	神経毒性のメカニズム、抗がん剤の種類、ケア	講義	医 30～60分	
102	副作用対策⑧	倦怠感のメカニズムとケア	講義	医 30～60分	
103	副作用対策⑨	アレルギー/過敏症のメカニズムと抗がん剤の種類、ケア	講義	医 30～60分	
104	血管外漏出を防ごう	抗がん薬の血管外漏出時のリスク、予防策と早期発見、患者教育、漏出時の対応	講義	医 30～60分	
105	CVポートトラブルを防ごう	CVポートの種類、機能、穿刺、抜針、投与中の観察点、自己管理	講義	医 40～60分	
106	抗がん剤の曝露を防ごう	曝露とは、抗がん薬の毒性、曝露場面と経路、曝露防止策、曝露時の対処法	講義	医 60分	
107	緩和ケア	緩和ケアの定義、緩和ケアの対象、ケアの内容、 非がんの緩和ケア	講義	医・介 30～60分	緩和ケア認定看護師
108	倫理的問題	臨床で起こりやすい倫理的問題とその対応	講義	医 30～60分	
109	患者・家族とのコミュニケーション	コミュニケーションの必要性の理解、コミュニケーションスキルを身につける	講義 (実技可)	医・介 60分	

No.	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
110	意思決定支援	アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning)	講義	医 30～60分	
111	がん疼痛	疼痛アセスメント、WHO 方式が ん疼痛治療法と副作用対策	講義	医 30～60分	
112	痛み以外のがん症状 緩和	消化器症状、呼吸器症状、倦怠 感、食欲不振、悲嘆、口腔トラブ ル、リンパ浮腫	講義	医 30～60分	
113	がん患者の精神症状 への対応	せん妄、抑うつ、不眠	講義	医 30～60分	
114	スピリチュアルペイン	スピリチュアルペインの理解とそ の対応	講義	医 30～60分	
115	終末期鎮静	適応と実際、倫理的要件、鎮静 における看護師の役割など	講義	医 30～60分	
116	終末期における家族 看護	家族のたどる心理過程と、関わり 方、子どもへの対応	講義	医・介 30～60分	
117	看取りのケア②	臨死期のケア、家族ケア、エンゼ ルケア	講義・実技	医・介 30～60分	
118	遺族ケア	遺族の心情の理解とケアの内容	講義	医・介 30～60分	
119	終末期のリンパ浮腫ケ ア	終末期のリンパ浮腫ケア	講義・実技	医・介 60分	
120	終末期のコミュニケー ション	悪い知らせを受ける時、意思決 定場面などのロールプレイ	講義・実技	医・介 60分	
121	せん妄患者の看護	せん妄の治療・看護	講義	医・介 30～90分	精神科看護 認定看護師
122	精神科疾患患者の看 護	精神疾患患者の精神症状の評 価と看護	講義	医・介 30～90分	
123	睡眠障害患者の看護	睡眠障害の薬物療法と看護	講義	医・介 30～60分	
124	認知症看護	安心感を提供する「カンフオータ ブルケア」	講義	医・介 60～90分	
125	糖尿病予防	糖尿病を予防するために日常で 気をつけること	講義	医・介 30～40分	糖尿病看護 認定看護師
126	糖尿病①	糖尿病の一般的内容	講義	医・介 30～40分	
127	糖尿病②	糖尿病の合併症の内容、予防方 法	講義	医・介 30～40分	
128	インスリン注射	インスリンの効能と副作用、注意 点	講義	医・介 30～40分	
129	低血糖症状と看護	低血糖の症状、対処法、注意点	講義	医・介 30～40分	

No.	講座名	内容	方法	対象・時間	担当
130	糖尿病のフットケア	ニッパーでの爪切り、打腱器、ノフィラメント、振動覚の使用法	講義・実技	医・介 30～60分	
131	安全に食べる	安全に食べさせるための姿勢、食べさせ方、食事形態の検討、とろみ水の作成方法	講義・実技	医・介 60分	摂食・嚥下 障害看護 認定看護師
132	寝たままでもお口をきれいに	寝たきりの人、嚥下障害のある人、認知症により拒否がある人の口腔ケア	講義・実技	医・介 60分	
133	食べる機能を評価する	食べる機能が低下している恐れがある人に対する評価方法	講義・実技	医・介 60分	
134	認知症の症状とケア	中核症状とケア、行動・心理症状とケア、せん妄の予防とケア	講義	医・介 60分	認知症看護 認定看護師
135	日常生活のケア	日常生活のアセスメントの視点、生活リズムの調整、転倒予防	講義	医・介 60分	
136	認知症ケアにおける倫理	意思決定支援、ケアにおける倫理的課題、ケアにおける倫理的ジレンマの対応	講義	医・介 60分	
137	女性の健康課題(月経について)	女性特有の月経に関するトラブルと対策について	講義	医・介 30～60分	産婦人科外 来助産師
138	女性の健康課題(更年期について)	更年期世代に多い悩みと対策について	講義	医・介 30～60分	

